

第5回 岩見沢市総合計画策定市民会議 議事録（要旨）

● 日時、出席者等

日時	平成 29 年 12 月 25 日（月）14 時 00 分～16 時 25 分
会場	岩見沢市役所 3 階 第 1・2 会議室
出席委員等	委員 15 人
傍聴者	1 人
事務局	4 人

● 議事録（要旨）

会 議 次 第	協 議 内 容
1 開会	
2 会長挨拶	
3 報告事項 #1 (1) 基本計画の策定について	<p>○事務局から、基本計画の策定等に関して説明を行いました。</p> <p>■基本計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画（素案）を、庁内調整の上、作成中です。 ・基本計画（素案）に対するパブリックコメントを 2 月上旬に実施します。 ・3 月まで計 8 回の市民会議を開催することを予定しています。 <p>○前回の市民会議で委員から質問があった事項について回答・説明を行いました。</p> <p>■子どもの貧困について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧困かどうかの基準として「貧困率」があります。 ・これは国が国民生活基礎調査の結果から算出しています。 ・市町村別の数値は公表されていません。 ・直近調査での子どもの貧困率は 13.9%（7 人に 1 人が貧困）です。 ・国際的に見れば、日本の子どもの貧困率は平均より少し上です。

<p>4 協議事項 #1</p> <p>(1) 基本計画の策定について</p>	<p>■平成 29 年 10 月の路線再編以降のバス利用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市独自の利用状況調査は行っていません。 ・北海道中央バスが 12 月上旬に調査を行い、集計中であるとのこと。 ・間に合えば、次回以降の会議の中でご紹介したいと考えています。 <p>○子どもの貧困について、委員から補足説明等がありました。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が、収入の低い世帯への支援制度・サービスの周知を当事者に対してどのように効果的に行うかということに課題があるのではないのでしょうか。 ・子どもの貧困対策において、市や関係機関における支援制度・サービスの情報共有が重要ではないのでしょうか。 ・相談窓口を一本化した方が、当事者の利用や情報提供に効果的だと考えます。 ・岩見沢市における子育て世代包括支援センター整備の進捗状況はどうなっているのでしょうか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も（収入の低い世帯への支援制度・サービスの）情報共有や周知について、改善していくのがいいかと思います。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかにして情報を当事者に上手に伝えるか、ということについて、子育て支援に限らず非常に重要と考えていますので、総合計画の中でも何かの形で盛り込んでいきたいと考えています。 ・岩見沢市における子育て世代包括支援センター整備の進捗状況については、次回会議でご報告できればと考えています。 <p>委員から次のようなご質問・ご意見がありました。</p> <p><u>持続可能な行財政基盤の確立について</u></p> <p>(委員)</p>
---	--

- ・「公共施設等総合管理計画」によると、岩見沢市の公共施設は老朽化していて、今後予想される補修費など目に見えない将来の負債に係る重大な部分が見えてきたことがショックでした。
- ・新しい公共施設をどんどん建てる代わりに、古くなった建物を維持・改修できなかつたりして、本当に必要なサービスが滞ってしまう恐れがあるのではないのでしょうか。
- ・例えば、市営住宅はもう要らないとか、あるいは市営住宅が今後も必要であれば建物は民間に任せてそこでかかる家賃を市で負担する等というように具体的に示し、公共施設の様々な問題を先送りできないと感じています。
- ・公共施設の老朽化問題に詳しい東洋大学の教授は、人口減少の中、今と同じような施設を維持できるわけがないと。そして、建替えを抑制すべきだというふうに提言していますね。

(委員)

- ・時代が公共施設に求めるものが変わり、その役割も変わってきたのかなと考えます。

(委員)

- ・設備が古い施設は整備を進めていくべきだろうと考えますが、将来の時代背景にあった公共施設を財政状況に合わせて作っていくのが本来かと思います。

(委員)

- ・教育関係施設の統廃合等の計画はあるのでしょうか。

(事務局)

- ・学校数が多いため、その床面積も大きいですから、統廃合の検討を内部的には進めています。

(委員)

- ・これからの公共施設の維持管理や更新は非常に重要な課題になるだろうと思います。

(事務局)

- ・当市は、平成 18 年 3 月に、隣接する北村と栗沢町と

市町村合併を行いました。合併前の市町村では、それぞれが庁舎も含めてフルスペックで公共施設を持っていたわけですが、三つ合併いたしますと、同一・類似施設などが重複をしまい、市が保有している施設数・床面積が過剰になりました。

- ・公共施設を維持・更新するための費用がかなり見込まれ、財政運営を圧迫することが容易に想定されるため、計画期間 30 年で床面積 30%の削減を行う計画となりました。
- ・この計画に沿って個別施設の具体的な統廃合や廃止等について、施設を利用されている方、地域の方への丁寧な説明を行いながら、着実に進めてまいりたいと考えています。

(委員)

- ・コンパクトシティを目指したまちづくりをどんどん進めていかないと、学校などの公共施設が点在・分離をしまい、不便になるため、公共施設の適正配置について早く進めていかないと考えます。

(委員)

- ・例えば、もし児童館が古くなって取り壊すとしたら学校の空き教室を利用してはいかがでしょうか。

開かれた市政の推進について

(委員)

- ・開かれた市政が率先して推進される中で、市役所だけではなく私たち市民も一緒に真剣に考えなければいけないのではないか、市民の意識改革がまず大事なのではないかと考えます。
- ・これからは市役所と市民が一緒になって取り組んでいく姿勢が必要ではないでしょうか。

(委員)

- ・消防団では地道な活動はしており、少しでも成果として出ればよいと考えています。
- ・今、岩見沢市にはいろいろな行政等の窓口がありますが、いろいろな経験を積まれた方が窓口にいた

だいて、気軽に何でも聞けて、一緒に手続きをしてくれる窓口があると、貧困や格差が減っていくのではないかと考えます。

- ・必要などころに必要な情報をしっかり届けるためには、口コミが一番効果的と考えます。
- ・地域の身近な人に気軽に聞ける窓口ができれば一番いいと考えます。

(委員)

- ・民生委員として私たちの手元にきた行政サービス情報については地域において情報提供を行っています。
- ・北村では、地元の皆さんと学童保育の子どもたちが一緒に混乗バスに乗ってコンパクト化されています。

(委員)

- ・気軽にアクセスして自分の意見を伝えることができる一本化された相談窓口があると良いと考えます。
- ・視点を変えれば、今あるもので今ある方法で現実可能なことはたくさんありそうな気がします。

(委員)

- ・人を育てる側が「情報」を知らなければ伝えることができない。
- ・例えば、保育士や幼稚園・小学校の先生が、年に1回でも岩見沢市の状況や国の制度などを知る場があってもよいと思います。

(委員)

- ・情報を必要としている市民が多くいるところ(保育園等)に情報の窓口になる人を作ってみてはどうでしょうか。
- ・学校の空き教室を利用した「集える場」があれば、情報交換が広がっていくのではないのでしょうか。

(委員)

- ・市民の意識改革を図るべきであるということはもちろんなのですが、なかなかこれはうまくいかないものですね。

- ・市役所も議員さんも（人口減や財政難により）今まで行っていた市民サービスがこれからも全てできるとは限りませんということを市民に伝えていかなければいけないのかなと考えます。

地域防災力の向上について

（委員）

- ・地域における自主防災組織の促進をどんどん図るべきではないでしょうか。

（委員）

- ・町会連合会としても自主防災組織を立ち上げることをお願いしています。
- ・町会長研修等において自主防災組織についてご説明差し上げてまいりたいと考えています。一気ににはできないかもしれませんが、徐々に防災意識を皆さんに持っていただきたいと思います。

健康づくりの推進について

（委員）

- ・健康診査受診率が低いとのことですが、医療費が高いということで普段から病院で診てもらってる方が多いからではないでしょうか。

高齢者福祉の充実について

（委員）

- ・「地域包括ケアシステムの構築」について、もう少し具体的に方針を出したらいいかなと思います。

農林業の振興について

（委員）

- ・農業生産の中で岩見沢らしい何かを作ってはいかがでしょうか。
- ・体験農場や研修宿泊施設を推進していただければと思います。

（委員）

- ・市民の皆さんに岩見沢の農産物や農業者を知っていただくことによって、さらに基幹産業として発展してい

<p>けるのではないかと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業が岩見沢の基幹産業である、と誰もが実感いただけ、市民の皆さんに支えていただけるような農業の振興策が望ましいと考えます。 <p>新産業の創出と企業立地の推進について</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・液肥の工場を岩見沢に作ってはいかがでしょうか。 <p>その他</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載する文章は、わかりやすい表現としていただきたく思います。 ・パブリックコメントの募集において、より多くの市民の意見をいただくために何か別な方法を考えてはいかがでしょうか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい表現にするように配慮していきたいと思えます。その上で、どうしてもこの表現でなければ、というものについては、ページの余白部分に注釈をつけることを考えております。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員 OB の意見を多く聞いてはいかがでしょうか。 <p>3 報告事項 #2</p> <p>(2) 序論・基本構想の最終案について</p>	<p>けるのではないかと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業が岩見沢の基幹産業である、と誰もが実感いただけ、市民の皆さんに支えていただけるような農業の振興策が望ましいと考えます。 <p>新産業の創出と企業立地の推進について</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・液肥の工場を岩見沢に作ってはいかがでしょうか。 <p>その他</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載する文章は、わかりやすい表現としていただきたく思います。 ・パブリックコメントの募集において、より多くの市民の意見をいただくために何か別な方法を考えてはいかがでしょうか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい表現にするように配慮していきたいと思えます。その上で、どうしてもこの表現でなければ、というものについては、ページの余白部分に注釈をつけることを考えております。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員 OB の意見を多く聞いてはいかがでしょうか。 <p>○事務局から、序論・基本構想の最終案に関して説明を行いました。</p> <p>■序論・基本構想の最終案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・序論・基本構想は、基本的な了解をいただいた上で、原案のままここまで進んでいますので、このような形で基本構想をまとめることについて、ご了解いただきたく思います。 ・細かな言い回しや表現の使い方など最後まで細かな文言の調整はしていきたいと考えております。今後、最終案を提示する中で、文意は変えずに若干語句の入れ替えがあるかもしれませんので、ご了解をいただきたいと思えます。
--	---

<p>4 協議事項 #2 (2) 序論・基本構想の最終案について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>	<p>■基本計画のパブリックコメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報いわみざわ2月号の中で8ページにわたって総合計画の特集記事を組むこととなります。 ・記事の中では、取組方針を優先して記載するというように考えております。 ・市民から多くのご意見をいただける方法を、ということについては、何か良い方法がないかということを広報係と協議し、検討したいと考えています。 <p>議長から次のようなご意見がありました。</p> <p>(議長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年後を見通すというのは非常に困難です。 ・見通しきれない部分はどうかという、毎年のように計画を見直さなければいけない。このようなスタンスをきちんと持つことが大事だと思っています。 <p>○事務局から、次回の開催日時・場所を提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は1月下旬の開催を予定 ・現在のところ、詳細な日時・場所は未定 ・決まり次第、ご案内します
--	--